

簡易診断から精密診断に関する実践的なノウハウを学ぶ

「振動法による設備診断技術コース」



若手の早期育成やベテラン不在による技術・技能伝承に役立つ 設備診断技術の知識を身につけます。

- 振動を測定し分析することでなぜ異常を発見できるのか、設備診断の実際の手順をたどることで設備診断の全体像を理解します。
- 実際のトラブルをモデルに簡易診断の作業の進め方を学習し、簡易振動計の機能や測定作業の実践的な進め方をマスターします。
- 精密診断がどのように進められるのか、FFTアナライザの操作方法など精密診断の進め方を学習します。

特色

- CGアニメーション、ナレーション、実写映像を組み合わせ、臨場感を持って解説しています。
- 簡易振動から精密診断まで、現場で実際に設備診断を行っていくうえで必要な知識を習得します。

カリキュラム

1章 設備診断とは...

- 101 設備診断とは...
- 102 設備診断の流れ
- 103 振動数・変位・速度・加速度
- 104 モードを変えて振動測定する理由
- 105 振動の測定方向
- 106 簡易診断による判定
- 107 精密診断で行われる振動測定
- 108 精密診断による判定

2章 簡易診断の進め方

- 201 診断する設備の概要
- 202 振動の測定部位
- 203 振動測定の方法

- 204 速度の判定基準
- 205 加速度の判定基準
- 206 判定基準による判定
- 207 簡易診断の所見
- 208 クレストファクター値

3章 精密診断の進め方

- 301 精密診断で用いる機器
- 302 振動測定の準備
- 303 振動測定の方法
- 304 速度モードのデータ分析
- 305 加速度モードのデータ分析とエンベロープモード
- 306 ベアリング損傷部位の特定
- 307 設備診断報告書を完成させる
- 308 機械の異常原因とその振動数の一覧表

受講対象者

生産現場(工場)の新人・中堅保全マン
オペレータ、現場の作業員・監督者・管理者

教材概要

想定学習時間

◆ 3 時間

最短実行時間

◆ 80 分

教材構成

◆ Webによる教材配信

◆ テスト数 1